

# 品質証明員通知書

年月日:

総括監督員 殿

(受注者)

印

年 月 日 付けをもって請負契約を締結し、工事の  
品質証明員を下記のとおり定めたので、資格及び経歴を添えて通知します。

## 記

品質証明員氏名

生年月日

資格

経歴

工事名	職名	工期	従事期間
計			

※「資格者証(写し)」を添付する。

# 様式-7 再生資源利用計画書(実施書) ー建設資材搬入工事用ー

## 1. 工事概要

発注機関名	発注機関コード*1	発注担当者チェック欄		請負会社名	請負者コード*2	記入年月日
		担当者		会社所在地	TEL FAX	工事責任者
		TEL	( )		( )	調査票記入者

工事名	工事種別コード*3	最終工事	100万円未満四捨五入 単位:千億まで
工事施工場所	住所コード*4	請負金額	,000,000 円 (税込み)
工事概要等	施工条件の内容 (再生資源の利用に関する特記事項等)	工期	自 至

建築・解体工事のみ  
右欄に記入して下さい

建築面積	単位:百万まで	階数	地上 階	地下 階
延床面積	単位:百万まで			
構造 ( <input type="checkbox"/> に印をつける)	<input type="checkbox"/> 鉄骨鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック造	<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> 木造	<input type="checkbox"/> 鉄骨造 <input type="checkbox"/> その他	
用途 ( <input type="checkbox"/> に印をつける)	<input type="checkbox"/> 居住専用 <input type="checkbox"/> 店舗 <input type="checkbox"/> 学校	<input type="checkbox"/> 居住産業併用 <input type="checkbox"/> 工場、作業所 <input type="checkbox"/> 病院診療所	<input type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 倉庫 <input type="checkbox"/> その他	

尚、解体工事については、建築面積は御記入いただくなくても結構です。

## 2. 建設資材利用実績

注:コード\*5~9は下記欄外のコード表より数字を選んでください。

建設資材 (新材を含む)					再生資材の供給元 (再生資材を利用した場合に記入してください)					再生資源		
分類	小分類 コード*5	規格	主な利用用途 コード*6	利用量(A) 単位:百万まで	再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元 種類 コード*7	施工条件 内容 コード*8	再生資材の供給元場所住所	住所コード *4	再生資材の名称 コード*9	再生資材利用量(B) 単位:百万まで (注1)	利用率 B/A×100
土砂				締めm <sup>3</sup>							締めm <sup>3</sup>	%
				締めm <sup>3</sup>							締めm <sup>3</sup>	%
				締めm <sup>3</sup>							締めm <sup>3</sup>	%
				締めm <sup>3</sup>							締めm <sup>3</sup>	%
				締めm <sup>3</sup>							締めm <sup>3</sup>	%
	合計			締めm <sup>3</sup>							締めm <sup>3</sup>	%
碎石				トン							トン	%
				トン							トン	%
				トン							トン	%
				トン							トン	%
				トン							トン	%
	合計			トン							トン	%
アスファルト 混合物				トン							トン	%
				トン							トン	%
				トン							トン	%
				トン							トン	%
				トン							トン	%
	合計			トン							トン	%
その他 (再生資材 のみ記入)				トン							トン	%
				トン							トン	%
				トン							トン	%
	合計			トン							トン	%

- コード\*5
- 土砂について
- 1.第一種建設発生土
  - 2.第二種建設発生土
  - 3.第三種建設発生土
  - 4.第四種建設発生土
  - 5.泥土(建設汚泥以外)
  - 6.土質改良土
  - 7.再生コンクリート砂
  - 8.山砂、山土等の購入土、採取土
- 碎石について
- 1.クラッシャーラン
  - 2.粒度調整碎石
  - 3.鉱さい
  - 4.単粒度碎石
  - 5.ぐり石、割ぐり石
  - 6.その他
- アスファルト混合物について
- 1.粗粒度アスファルトコンクリート
  - 2.密粒度アスファルトコンクリート
  - 3.細粒度アスファルトコンクリート
  - 4.アスファルトモルタル
  - 5.加熱アスファルト安定処理路盤材
- その他について(再生資材の名称を具体的に記入)

- コード\*6
- 土砂について
- 1.道路路体
  - 2.路床
  - 3.河川築堤
  - 4.構造物等の裏込材、埋戻し用
  - 5.宅地造成用
  - 6.水面埋立用
  - 7.ほ場整備(農地整備)
  - 8.その他(具体的に記入)
- 碎石について
- 1.舗装の下層路盤材
  - 2.舗装の上層路盤材
  - 3.構造物の裏込材、基礎材
  - 4.その他(具体的に記入)
- アスファルト混合物について
- 1.表層
  - 2.基層
  - 3.上層路盤
  - 4.歩道
  - 5.その他(駐車場舗装、敷地内舗装等)
- その他について(利用用途を具体的に記入)

- コード\*7
- 再生資材の供給元について
- 1.現場内利用
  - 2.他の工事現場
  - 3.再資源化施設
  - 4.ストックヤード
  - 5.その他

- コード\*8
- 施工条件について
- 1.再生材の利用の指示あり
  - 2.再生材の利用の指示なし

- コード\*9
- 土砂について
- 1.第一種建設発生土
  - 2.第二種建設発生土
  - 3.第三種建設発生土
  - 4.第四種建設発生土
  - 5.泥土(建設汚泥以外)
  - 6.土質改良土
  - 7.再生コンクリート砂
  - 8.その他
- 碎石について
- 1.再生クラッシャーラン
  - 2.再生粒度調整碎石
  - 3.鉱さい
  - 4.その他
- アスファルト混合物について
- 1.再生粗粒度アスファルトコンクリート
  - 2.再生密粒度アスファルトコンクリート
  - 3.再生細粒度アスファルトコンクリート
  - 4.再生アスファルトモルタル
  - 5.再生加熱アスファルト安定処理路盤材
- その他について(再生資材の名称を具体的に記入)

注1:再生資材利用量について

アスファルト混合物等で、利用した再生材(製品)の中に、新材が混入している場合であっても、新材混入分を含んだ再生資材(製品)の利用量を記入してください。

# 様式-8 再生資源利用促進計画書(実施書) -建設副産物搬出工事用-

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ「様式8」を作成して下さい。

## 1. 工事概要

発注機関名	発注機関コード*1	発注担当者チェック欄	担当者	請負会社名	請負者コード*2	記入年月日
		TEL	( )	会社所在地	TEL FAX	工事責任者
						調査票記入者

  

工事名	工事種別コード*3	最終工事	100万円未満四捨五入 単位:千億まで
工事施工場所	住所コード*4	請負金額	,000,000 円 (税込み)
工事概要等	施工条件の内容	工期	自 至

  

建築面積	延床面積	階数	地上階	地下階
構造 ( <input type="checkbox"/> に印をつける)	鉄骨鉄筋コンクリート造 コンクリートブロック造	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	木造 その他
用途 ( <input type="checkbox"/> に印をつける)	居住専用	居住産業併用	事務所	倉庫 その他
	店舗	工場、作業所	病院診療所	
	学校			

## 2. 建設副産物搬出実績

現場内利用の欄には、発生量(掘削等)のうち、現場内で利用したものについて御記入ください。

注) 再資源化施設、最終処分場は、指定副産物の種類ごとに3ヶ所まで記入できます。4ヶ所以上になる場合は、用紙を換えて記入してください。

コード\*14(コード\*13で「7.内陸処分場」を選択した場合のみ記入)

1.山砂利等採取跡地 2.処分場の覆土 3.池沼等の水面埋立 4.谷地埋立 5.農地受入 6.その他

指定副産物の種類	(1)発生量 (掘削等) =(2)+(3)+(4)	現場内利用・減量			現場外搬出について										再生資源利用 促進率 (2)+(5) ×100 (1)		
		用途 コード*10	(2)利用量	減量法 コード*11	減量化	搬出先名称	区分	施工条件の 内容 コード*12	搬出先場所	住所コード *4	運搬距離 単位:千まで	搬出先の 種類 コード*13	受入地 の用途 コード*14	(4)現場外搬出量		うち現場内 改良分	(5)再生資源 利用促進量 (注2)
建設発生土	第一種建設発生土	0	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	1ヶ所目	<input type="radio"/> 公共 <input type="radio"/> 民間				km			地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	%
	第二種建設発生土	0	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	2ヶ所目	<input type="radio"/> 公共 <input type="radio"/> 民間				km			地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	%
	第三種建設発生土	0	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	3ヶ所目	<input type="radio"/> 公共 <input type="radio"/> 民間				km			地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	%
	第四種建設発生土	0	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	1ヶ所目	<input type="radio"/> 公共 <input type="radio"/> 民間				km			地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	%
	泥土 (河川、湖沼 等の浚渫土)	0	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	2ヶ所目	<input type="radio"/> 公共 <input type="radio"/> 民間				km			地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	%
	合計	0	地山m <sup>3</sup>	0	0	3ヶ所目	<input type="radio"/> 公共 <input type="radio"/> 民間				km			0	0	0	%
コンクリート塊	0	トン	トン	トン	1ヶ所目	<input type="radio"/> 公共 <input type="radio"/> 民間					km			トン	トン	トン	%
アスファルト・ コンクリート塊	0	トン	トン	トン	2ヶ所目	<input type="radio"/> 公共 <input type="radio"/> 民間					km			トン	トン	トン	%
建設発生木材	0	トン	トン	トン	3ヶ所目	<input type="radio"/> 公共 <input type="radio"/> 民間					km			トン	トン	トン	%
建設汚泥	0	トン	トン	トン	1ヶ所目	<input type="radio"/> 公共 <input type="radio"/> 民間					km			トン	トン	トン	%
建設混合廃棄物	0	トン	トン	トン	2ヶ所目	<input type="radio"/> 公共 <input type="radio"/> 民間					km			トン	トン	トン	%
		トン	トン	トン	3ヶ所目	<input type="radio"/> 公共 <input type="radio"/> 民間					km			トン	トン	トン	%

コード\*10  
1.路盤材 2.裏込材  
3.埋戻し材 4.その他(具体的に記入)

コード\*11  
1.焼却 2.脱水  
3.天日乾燥 4.その他(具体的に記入)

コード\*12  
施工条件について  
1.A指定処分  
(発注時に指定されたもの)  
2.B指定処分(もしくは準指定処分)  
(発注時には指定されていないが、  
発注後に設計変更し指定処分とされたもの)  
3.自由処分

コード\*13(詳細は「表-4」参照のこと)  
再生資源利用促進  
1.他の工事現場(内陸:公共、民間を含む)  
2.再資源化施設(土質改良プラントを含む)  
3.有償売却(工事請負会社が建設副産物を売却し、  
代金を得た場合)  
4.建設発生土ストックヤード(他工事で再利用される場合)  
5.海面埋立事業(海岸、海浜事業含む)

最終処分場・その他  
6.海面処分場  
7.内陸処分場(建設発生土受入地を含む)  
8.建設発生土ストックヤード(再利用されない場合)  
9.中間処理施設(焼却施設、処分のための中間  
処理施設に限る)  
10.その他(具体的に記入)

注2:再生資源利用促進量について  
現場外搬出量(4)のうち、搬出先の種類  
(コード\*13)が1~5の合計

年月日：

### 施工体制台帳（作成例）

[会社名] \_\_\_\_\_

[事業所名] \_\_\_\_\_

建設業の許可	許可業種	許可番号		許可(更新)年月日
	工事業	大臣 知事	特定 一般	第 号 年 月 日
	工事業	大臣 知事	特定 一般	第 号 年 月 日

工事名称及び工事内容				
発注者及び住所				
工期	自	年	月	日
	至	年	月	日
	契 約 日		年	月 日

契約所	区分	名 称	住 所
	元請契約		
	下請契約		

健康保険等の加入状況	保険加入の有無	健康保険		厚生年金保険		雇用保険	
		加入	未加入 適用除外	加入	未加入 適用除外	加入	未加入 適用除外
	事業所 整理記号等	区分	営業所の名称	健康保険	厚生年金保険	雇用保険	
		元請契約					
		下請契約					

発注者の監督員名		権限及び意見 申出方法	
----------	--	----------------	--

監督員名		権限及び意見 申出方法	
現場代理人名		権限及び意見 申出方法	
監理技術者名 主任技術者名	専 任 非専任	資 格 内 容	
専門技術者名		専 門 技 術 者 名	
	資 格 内 容		資 格 内 容
	担 当 工 事 内 容		担 当 工 事 内 容

外国人建設就労者の従事状況(有無)	有 無	外国人技能実習生の従事状況(有無)	有 無
-------------------	-----	-------------------	-----

### 《下請負人に関する事項》

会社名		代表者名	
住所			
工事名称及び工事内容			
工期	自	年	月 日
	至	年	月 日
	契 約 日		年 月 日

建設業の許可	施工に必要な許可業種	許可番号		許可(更新)年月日
	工事業	大臣 知事	特定 一般	第 号 年 月 日
	工事業	大臣 知事	特定 一般	第 号 年 月 日

健康保険等の加入状況	保険加入の有無	健康保険		厚生年金保険		雇用保険	
		加入	未加入 適用除外	加入	未加入 適用除外	加入	未加入 適用除外
	事業所 整理記号等	営業所の名称	健康保険	厚生年金保険	雇用保険		

現場代理人名		安全衛生責任者名	
権限及び意見申出方法		安全衛生推進者名	
主任技術者名	専 任 非専任	雇用管理責任者名	
資格内容		専門技術者名	
		資格内容	
		担当工事内容	

外国人建設就労者の従事状況(有無)	有 無	外国人技能実習生の従事状況(有無)	有 無
-------------------	-----	-------------------	-----

### ※施工体制台帳の添付書類(建設業法施行規則第14条の2第2項)

- ・発注者と作成建設業者の請負契約及び作成建設業者と下請負人の下請契約に係る当初契約及び変更契約の契約書面の写し(公共工事以外の建設工事について締結されるものに係るものは、請負代金の額に係る部分を除く)
- ・主任技術者又は監理技術者が主任技術者資格又は監理技術者資格を有する事を証する書面及び当該主任技術者又は監理技術者が作成建設業者に雇用期間を特に限定することなく雇用されている者であることを証する書面又はこれらの写し
- ・専門技術者をおく場合は、その者が主任技術者資格を有することを証する書面及びその者が作成建設業者に雇用期間を特に限定することなく雇用されている者であることを証する書面又はこれらの写し

年月日：

### 施工体制台帳（作成例）

[会社名] \_\_\_\_\_

[事業所名] \_\_\_\_\_

建設業の許可	許可業種	許可番号		許可(更新)年月日
	工事業	大臣 知事	特定 一般	第 号 年 月 日
	工事業	大臣 知事	特定 一般	第 号 年 月 日

工事名称及び工事内容				
発注者及び住所				
工期	自	年	月	日
	至	年	月	日
	契 約 日		年	月 日

契約所	区分	名 称	住 所
	元請契約		
	下請契約		

健康保険等の加入状況	保険加入の有無	健康保険		厚生年金保険		雇用保険	
		加入	未加入 適用除外	加入	未加入 適用除外	加入	未加入 適用除外
	事業所 整理記号等	区分	営業所の名称	健康保険	厚生年金保険	雇用保険	
		元請契約					
		下請契約					

発注者の監督員名		権限及び意見 申出方法	
----------	--	----------------	--

監督員名		権限及び意見 申出方法	
現場代理人名		権限及び意見 申出方法	
監理技術者名 主任技術者名	専 任 非専任	資 格 内 容	
専 門 技 術 者 名		専 門 技 術 者 名	
	資 格 内 容		資 格 内 容
	担 当 工 事 内 容		担 当 工 事 内 容

外国人建設就労者の 従事の状況(有無)	有 無	外国人技能実習生の 従事の状況(有無)	有 無
------------------------	-----	------------------------	-----

### 《下請負人に関する事項》

会 社 名		代 表 者 名	
住 所			
工 事 名 称 及 工 事 内 容			
工 期	自	年	月 日
	至	年	月 日
	契 約 日		年 月 日

建設業の許可	施工に必要な許可業種	許可番号		許可(更新)年月日
	工事業	大臣 知事	特定 一般	第 号 年 月 日
	工事業	大臣 知事	特定 一般	第 号 年 月 日

健康保険等の加入状況	保険加入の有無	健康保険		厚生年金保険		雇用保険	
		加入	未加入 適用除外	加入	未加入 適用除外	加入	未加入 適用除外
	事業所 整理記号等	営業所の名称	健康保険	厚生年金保険	雇用保険		

現場代理人名		安全衛生責任者名	
権限及び 意見申出方法		安全衛生推進者名	
主任技術者名	専 任 非専任	雇用管理責任者名	
資 格 内 容		専 門 技 術 者 名	
		資 格 内 容	
		担 当 工 事 内 容	

外国人建設就労者の 従事の状況(有無)	有 無	外国人技能実習生の 従事の状況(有無)	有 無
------------------------	-----	------------------------	-----

### ※施工体制台帳の添付書類(建設業法施行規則第14条の2第2項)

- ・発注者と作成建設業者の請負契約及び作成建設業者と下請負人の下請契約に係る当初契約及び変更契約の契約書面の写し(公共工事以外の建設工事について締結されるものに係るものは、請負代金の額に係る部分を除く)
- ・主任技術者又は監理技術者が主任技術者資格又は監理技術者資格を有する事を証する書面及び当該主任技術者又は監理技術者が作成建設業者に雇用期間を特に限定することなく雇用されている者であることを証する書面又はこれらの写し
- ・専門技術者をおく場合は、その者が主任技術者資格を有することを証する書面及びその者が作成建設業者に雇用期間を特に限定することなく雇用されている者であることを証する書面又はこれらの写し

















# 工 事 履 行 報 告 書

工事名			
工期	～		
日付	(      月分)		
月 別	予定工程 % ( ) は工程変更後	実施工程 %	備 考
(記事欄)			

主任 監督員	監督員

現 場 代理人	主 任 (監理) 技術者

様式-31

## 出来形管理図表

工種 \_\_\_\_\_

種別 \_\_\_\_\_

測定者 \_\_\_\_\_ 印

測 点											略 図	
設計値との差 0												
測定項目				測定項目				測定項目				
規格値				規格値				規格値				
測点又は区別	設計値	実測値	差	測点又は区別	設計値	実測値	差	測点又は区別	設計値	実測値	差	
平均値												
最大値												
最小値												
最多値												
データ数												
標準偏差												



# 第 工 事 出 来 高 内 訳 書 内 訳 書

名 称	規 格	単 位	設計数量	監督職員 の指示に よる数量	合計	出来高		工事出来 高内訳書 における 構成比率 ②	工事出来 高報告書 における 進捗率 (%) ①×②	摘 要
						数量	進捗率(%) ①			

注: 1. 工事出来高内訳書における構成比率は、工事出来高内訳書の各名称毎の金額比率から算出し、小数第2位(小数第3位切捨)とする。  
 2. 工事出来高報告書における進捗率は、構成比率に出来高進捗率を乗じ、小数第1位(小数第2位切捨)とする。



記入例

様式一東(2)-3

工事名

平成 年 月 日

工事出来高報告書  
(既済部分検査用)

主任監督員		監督員		現場代理人	
-------	--	-----	--	-------	--

工事区分	工種	種別	細別	規格	単位	設計数量 ①	監督職員 指示での 変更数量	合計	出来高		積算 金額 ④	出来高 金額 ⑤=③×④	摘要
									数量②	進捗率 ③=②/①× 100			
道路改良					式	1		1			75,331,655	33,514,338	
	道路土工				式	1		1			32,439,400		
		掘削工			式	1		1			10,801,000		
			掘削(土砂)		m3	10,000	1,200	11,200	11,200	112	6,945,000	7,778,400	
			掘削(軟岩)		m3	2,000		2,000	2,000	100	3,856,000	3,856,000	
		路体盛土工			式	1		1			15,832,600		
			路体(流用土)		m3	11,300		11,300	11,300	100	1,582,000	1,582,000	
			路体(購入土)		m3	8,700		8,700	6,000	68.9	14,250,600	9,818,663	
		路床盛土工			式	1		1			5,121,000		
			路床(購入土)		m3	3,000		3,000			5,121,000		
		法面整形工			式	1		1			684,800		
			法面整形(盛土部)		m2	2,000		2,000			684,800		
	法面工				式	1		1			352,000		
		植生工			式	1		1			352,000		
			種子散布		m2	2,000		2,000			352,000		
	擁壁工				式	1		1			11,525,810		
		作業土工			式	1		1			244,390		
			床掘り		m3	500		500	500	100	121,600	121,600	
			埋戻し		m3	300		300	300	100	122,790	122,790	
		既製杭工			式	1		1			3,537,000		
			既製コンクリート	PC杭 杭径 300r	本	30		30	30	100	3,537,000	3,537,000	
		場所打擁壁工(構造物単位)			式	1		1			1,936,800		
			L型擁壁	18-8-40(高炉)	m3	80		80	80	100	1,936,800	1,936,800	
		場所打擁壁工(構造物単位)			式	1		1			1,936,800		
			L型擁壁	18-8-40(高炉)	m3	80		80	80	100	1,936,800	1,936,800	
		補強土壁工			式	1		1			2,728,720		
			ジオテキスタイル補	鋼製ユニット	m2	92		92		50	2,728,720	1,364,360	第1号内訳書
		補強土壁工			式	1		1			1,142,100		
			ジオテキスタイル補	鋼製ユニット	m2	30		30		50	1,142,100	571,050	第2号内訳書
	カルバート工				式	1		1			31,014,445		
		作業土工			式	1		1			888,875		
			床掘り		m3	2,460		2,460	2,460	100	598,272	598,272	
			埋戻し		m3	710		710	710	100	290,603	290,603	
		場所打函渠工(構造物単位)			式	1		1			13,183,172		
			函渠	24-8-25(20)(高炉)	m3	170		170			4,533,900		
			鉄筋	SD345 D13	t	19		19			2,568,732		
			鉄筋	SD345 D16~25	t	17		17			2,278,716		
			鉄筋	SD345 D29~32	t	28		28			3,801,824		
直接工事費					式	1		1			75,331,655	33,514,338	44.4%
共通仮設					式	1		1	1		12,762,400		
	共通仮設費				式	1		1			762,400		
		安全費			式	1		1			536,200		
			交通誘導員	A	人日	56	16	72	33	58.9	511,200	301,096	
			安全対策施設		式	1		1			25,000		
		技術管理費			式	1		1	1		226,200		
			〇〇調査		式	1		1	1	100	226,200	226,200	
	共通仮設費(率計上)				式	1		1	1	44.4	12,000,000	5,328,000	
純工事費					式	1		1	1		12,000,000		
	現場管理費				式	1		1	1	44.4	12,000,000	5,328,000	
工事原価					式	1		1	1		12,000,000		
	一般管理費				式	1		1	1	44.4	12,000,000	5,328,000	
工事価格											112,094,055	50,020,000	▲ 5,634

- 注:
- 進捗率③(%)は、小数第1位(小数第2位切捨)とする。
  - 工種等毎の出来高金額⑤は、1円単位とし、出来高算出金額の合計は、万円単位とする。(万円未満切捨)
  - 直接工事費の合計の摘要欄には、出来高率(小数第1位(小数第2位切捨))を記載する。
  - 請負者は太枠内のみ記入するものとする。
  - 必要に応じて工事出来高内訳書を添付する。
  - 中間前金の出来高確認払いに用いる場合は、「既済部分検査用」の表示を消して使用するものとする。
  - 総価契約、総価契約単価合意方式(ユニットプライス型積算方式等)の場合は、「細別」を「ユニット区分」に、「規格」を「プライス条件/プライス条件区分」に、「積算金額」を「ユニット単価合意書工種別金額」にそれぞれ書き換えて使用するものとする。



# 第 工 事 出 来 高 内 訳 書 内 訳 書

名 称	規 格	単 位	設計数量	監督職員 の指示に よる数量	合計	出来高		工事出来 高内訳書 における 構成比率 ②	工事出来 高報告書 における 進捗率 (%) ①×②	摘 要
						数量	進捗率(%) ①			

注: 1. 工事出来高内訳書における構成比率は、工事出来高内訳書の各名称毎の金額比率から算出し、小数第2位(小数第3位切捨)とする。  
 2. 工事出来高報告書における進捗率は、構成比率に出来高進捗率を乗じ、小数第1位(小数第2位切捨)とする。

記入例

様式一東(2)-3

工事名

平成 年 月 日

工事出来高報告書  
(既済部分検査用)

主任監督員		監督員		現場代理人	
-------	--	-----	--	-------	--

工事区分	工種	種別	細別	規格	単位	設計数量 ①	監督職員 指示での 変更数量	合計	出来高		積算 金額 ④	出来高 金額 ⑤=③×④	摘要
									数量②	進捗率 ③=②/①× 100			
道路改良					式	1		1			75,331,655	33,514,338	
	道路土工				式	1		1			32,439,400		
		掘削工			式	1		1			10,801,000		
			掘削(土砂)		m3	10,000	1,200	11,200	11,200	112	6,945,000	7,778,400	
			掘削(軟岩)		m3	2,000		2,000	2,000	100	3,856,000	3,856,000	
		路体盛土工			式	1		1			15,832,600		
			路体(流用土)		m3	11,300		11,300	11,300	100	1,582,000	1,582,000	
			路体(購入土)		m3	8,700		8,700	6,000	68.9	14,250,600	9,818,663	
		路床盛土工			式	1		1			5,121,000		
			路床(購入土)		m3	3,000		3,000			5,121,000		
		法面整形工			式	1		1			684,800		
			法面整形(盛土部)		m2	2,000		2,000			684,800		
	法面工				式	1		1			352,000		
		植生工			式	1		1			352,000		
			種子散布		m2	2,000		2,000			352,000		
	擁壁工				式	1		1			11,525,810		
		作業土工			式	1		1			244,390		
			床掘り		m3	500		500	500	100	121,600	121,600	
			埋戻し		m3	300		300	300	100	122,790	122,790	
		既製杭工			式	1		1			3,537,000		
			既製コンクリートPC杭 杭径 300r		本	30		30	30	100	3,537,000	3,537,000	
		場所打擁壁工(構造物単位)			式	1		1			1,936,800		
			L型擁壁 18-8-40(高炉)		m3	80		80	80	100	1,936,800	1,936,800	
		場所打擁壁工(構造物単位)			式	1		1			1,936,800		
			L型擁壁 18-8-40(高炉)		m3	80		80	80	100	1,936,800	1,936,800	
		補強土壁工			式	1		1			2,728,720		
			ジオテキスタイル補強 鋼製ユニット		m2	92		92		50	2,728,720	1,364,360	第1号内訳書
		補強土壁工			式	1		1			1,142,100		
			ジオテキスタイル補強 鋼製ユニット		m2	30		30		50	1,142,100	571,050	第2号内訳書
	カルバート工				式	1		1			31,014,445		
		作業土工			式	1		1			888,875		
			床掘り		m3	2,460		2,460	2,460	100	598,272	598,272	
			埋戻し		m3	710		710	710	100	290,603	290,603	
		場所打函渠工(構造物単位)			式	1		1			13,183,172		
			函渠 24-8-25(20)(高炉)		m3	170		170			4,533,900		
			鉄筋 SD345 D13		t	19		19			2,568,732		
			鉄筋 SD345 D16~25		t	17		17			2,278,716		
			鉄筋 SD345 D29~32		t	28		28			3,801,824		
直接工事費					式	1		1			75,331,655	33,514,338	44.4%
共通仮設					式	1		1	1		12,762,400		
	共通仮設費				式	1		1			762,400		
		安全費			式	1		1			536,200		
			交通誘導員 A		人日	56	16	72	33	58.9	511,200	301,096	
			安全対策施設		式	1		1			25,000		
		技術管理費			式	1		1	1		226,200		
			〇〇調査		式	1		1	1	100	226,200	226,200	
	共通仮設費(率計上)				式	1		1	1	44.4	12,000,000	5,328,000	
純工事費					式	1		1	1		12,000,000		
	現場管理費				式	1		1	1	44.4	12,000,000	5,328,000	
工事原価					式	1		1	1		12,000,000		
	一般管理費				式	1		1	1	44.4	12,000,000	5,328,000	
工事価格											112,094,055	50,020,000	▲ 5,634

- 注:
- 進捗率③(%)は、小数第1位(小数第2位切捨)とする。
  - 工種等毎の出来高金額⑤は、1円単位とし、出来高算出金額の合計は、万円単位とする。(万円未満切捨)
  - 直接工事費の合計の摘要欄には、出来高率(小数第1位(小数第2位切捨))を記載する。
  - 請負者は太枠内のみ記入するものとする。
  - 必要に応じて工事出来高内訳書を添付する。
  - 中間前金の出来高確認払いに用いる場合は、「既済部分検査用」の表示を消して使用するものとする。
  - 総価契約、総価契約単価合意方式(ユニットプライス型積算方式等)の場合は、「細別」を「ユニット区分」に、「規格」を「プライス条件/プライス条件区分」に、「積算金額」を「ユニット単価合意書工種別金額」にそれぞれ書き換えて使用するものとする。

年月日：	
宮城県知事(又は地方公所長) 殿	
(現場代理人氏名)	印
年 月 日 の ( ) 検査において、修補指示 されました部分につきましては、下記のとおり完了しましたので報告します。	
<b>修補完了報告書</b>	
工事名	
検査職員の修補指示箇所及び修補内容	

---

(注) 本文 ( ) 内には検査種類を記入する。

年 月 日

宮城県知事(又は地方公所長)

殿

(受注者)

印

## 修 補 完 了 届

年 月 日の( )検査において、指示されました  
修補部分については、下記のとおり完了しましたのでお届けいたします。

### 記

工 事 名

契 約 額

工 事 場 所

契 約 年 月 日

期 限 年 月 日

完 了 年 月 日

修補、改造箇所及び補修内容

---

(注) 本文( )内には検査種類を記入する。



# 支 給 品 精 算 書

年月日:

監督職員

殿

受注者 (住所)

(氏名)

(現場代理人氏名)

印

下記のとおり支給品を精算します。

記

工 事 名				契約年月日			
品 目	規 格	単 位	数 量			備 考	
			支給数量	使用数量	残 数 量		
※ 主任監督員 証 明 欄	上記精算について調査したところ事実と相違ないことを証明す					※物品管理簿登記	
	年月日:						
	(官職氏名)					印	印

(注) ※は主任監督員が記入する。







# 第 工 事 出 来 高 内 訳 書 内 訳 書

名 称	規 格	単 位	設計数量	監督職員 の指示に よる数量	合計	出来高		工事出来 高内訳書 における 構成比率 ②	工事出来 高報告書 における 進捗率 (%) ①×②	摘 要
						数量	進捗率(%) ①			

注: 1. 工事出来高内訳書における構成比率は、工事出来高内訳書の各名称毎の金額比率から算出し、小数第2位(小数第3位切捨)とする。  
 2. 工事出来高報告書における進捗率は、構成比率に出来高進捗率を乗じ、小数第1位(小数第2位切捨)とする。

記入例

様式一東(2)-3

工事名

平成 年 月 日

工事出来高報告書  
(既済部分検査用)

主任監督員		監督員		現場代理人	
-------	--	-----	--	-------	--

工事区分	工種	種別	細別	規格	単位	設計数量 ①	監督職員 指示での 変更数量	合計	出来高		積算 金額 ④	出来高 金額 ⑤=③×④	摘要
									数量②	進捗率 ③=②/①× 100			
道路改良					式	1		1			75,331,655	33,514,338	
	道路土工				式	1		1			32,439,400		
		掘削工			式	1		1			10,801,000		
			掘削(土砂)		m3	10,000	1,200	11,200	11,200	112	6,945,000	7,778,400	
			掘削(軟岩)		m3	2,000		2,000	2,000	100	3,856,000	3,856,000	
		路体盛土工			式	1		1			15,832,600		
			路体(流用土)		m3	11,300		11,300	11,300	100	1,582,000	1,582,000	
			路体(購入土)		m3	8,700		8,700	6,000	68.9	14,250,600	9,818,663	
		路床盛土工			式	1		1			5,121,000		
			路床(購入土)		m3	3,000		3,000			5,121,000		
		法面整形工			式	1		1			684,800		
			法面整形(盛土部)		m2	2,000		2,000			684,800		
	法面工				式	1		1			352,000		
		植生工			式	1		1			352,000		
			種子散布		m2	2,000		2,000			352,000		
	擁壁工				式	1		1			11,525,810		
		作業土工			式	1		1			244,390		
			床掘り		m3	500		500	500	100	121,600	121,600	
			埋戻し		m3	300		300	300	100	122,790	122,790	
		既製杭工			式	1		1			3,537,000		
			既製コンクリート	PC杭 杭径 300r	本	30		30	30	100	3,537,000	3,537,000	
		場所打擁壁工(構造物単位)			式	1		1			1,936,800		
			L型擁壁	18-8-40(高炉)	m3	80		80	80	100	1,936,800	1,936,800	
		場所打擁壁工(構造物単位)			式	1		1			1,936,800		
			L型擁壁	18-8-40(高炉)	m3	80		80	80	100	1,936,800	1,936,800	
		補強土壁工			式	1		1			2,728,720		
			ジオテキスタイル補	鋼製ユニット	m2	92		92		50	2,728,720	1,364,360	第1号内訳書
		補強土壁工			式	1		1			1,142,100		
			ジオテキスタイル補	鋼製ユニット	m2	30		30		50	1,142,100	571,050	第2号内訳書
	カルバート工				式	1		1			31,014,445		
		作業土工			式	1		1			888,875		
			床掘り		m3	2,460		2,460	2,460	100	598,272	598,272	
			埋戻し		m3	710		710	710	100	290,603	290,603	
		場所打函渠工(構造物単位)			式	1		1			13,183,172		
			函渠	24-8-25(20)(高炉)	m3	170		170			4,533,900		
			鉄筋	SD345 D13	t	19		19			2,568,732		
			鉄筋	SD345 D16~25	t	17		17			2,278,716		
			鉄筋	SD345 D29~32	t	28		28			3,801,824		
直接工事費					式	1		1			75,331,655	33,514,338	44.4%
共通仮設					式	1		1	1		12,762,400		
	共通仮設費				式	1		1			762,400		
		安全費			式	1		1			536,200		
			交通誘導員	A	人日	56	16	72	33	58.9	511,200	301,096	
			安全対策施設		式	1		1			25,000		
		技術管理費			式	1		1	1		226,200		
			〇〇調査		式	1		1	1	100	226,200	226,200	
	共通仮設費(率計上)				式	1		1	1	44.4	12,000,000	5,328,000	
純工事費					式	1		1	1		12,000,000		
	現場管理費				式	1		1	1	44.4	12,000,000	5,328,000	
工事原価					式	1		1	1		12,000,000		
	一般管理費				式	1		1	1	44.4	12,000,000	5,328,000	
工事価格											112,094,055	50,020,000	▲ 5,634

- 注:
- 進捗率③(%)は、小数第1位(小数第2位切捨)とする。
  - 工種等毎の出来高金額⑤は、1円単位とし、出来高算出金額の合計は、万円単位とする。(万円未満切捨)
  - 直接工事費の合計の摘要欄には、出来高率(小数第1位(小数第2位切捨))を記載する。
  - 請負者は太枠内のみ記入するものとする。
  - 必要に応じて工事出来高内訳書を添付する。
  - 中間前金の出来高確認払いに用いる場合は、「既済部分検査用」の表示を消して使用するものとする。
  - 総価契約、総価契約単価合意方式(ユニットプライス型積算方式等)の場合は、「細別」を「ユニット区分」に、「規格」を「プライス条件/プライス条件区分」に、「積算金額」を「ユニット単価合意書工種別金額」にそれぞれ書き換えて使用するものとする。



様式-31

## 出来形管理図表

工種 \_\_\_\_\_

種別 \_\_\_\_\_

測定者 \_\_\_\_\_ 印

測点											略 図	
設計値との差 0												略 図
測定項目				測定項目				測定項目				
規格値				規格値				規格値				
測点又は区別	設計値	実測値	差	測点又は区別	設計値	実測値	差	測点又は区別	設計値	実測値	差	
平均値												
最大値												
最小値												
最多値												
データ数												
標準偏差												

# 工 事 履 行 報 告 書

工事名			
工期	～		
日付	(      月分)		
月 別	予定工程 % ( ) は工程変更後	実施工程 %	備 考
(記事欄)			

主任 監督員	監督員

現 場 代理人	主 任 (監理) 技術者

# 様式-7 再生資源利用計画書(実施書) ー建設資材搬入工事用ー

## 1. 工事概要

発注機関名	発注機関コード*1	発注担当者チェック欄		請負会社名	請負者コード*2	記入年月日
		担当者				
		TEL	( )	会社所在地	TEL FAX	工事責任者
					( )	調査票記入者

工事名	工事種別コード*3	最終工事	100万円未満四捨五入 単位:千億まで
工事施工場所	住所コード*4	請負金額	,000,000 円 (税込み)
工事概要等	施工条件の内容 (再生資源の利用に関する特記事項等)		

建築・解体工事のみ  
右欄に記入して下さい

建築面積	単位:百万まで	階数	地上 階	地下 階
延床面積	単位:百万まで			
構造	<input type="checkbox"/> 鉄骨鉄筋コンクリート造	<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造	<input type="checkbox"/> 鉄骨造	
( <input type="checkbox"/> に印をつける)	<input type="checkbox"/> コンクリートブロック造	<input type="checkbox"/> 木造	<input type="checkbox"/> その他	
用途	<input type="checkbox"/> 居住専用	<input type="checkbox"/> 居住産業併用	<input type="checkbox"/> 事務所	
( <input type="checkbox"/> に印をつける)	<input type="checkbox"/> 店舗	<input type="checkbox"/> 工場、作業所	<input type="checkbox"/> 倉庫	
	<input type="checkbox"/> 学校	<input type="checkbox"/> 病院診療所	<input type="checkbox"/> その他	

尚、解体工事については、建築面積は御記入いただかなくても結構です。

## 2. 建設資材利用実績

注:コード\*5~9は下記欄外のコード表より数字を選んでください。

建設資材 (新材を含む)					再生資材の供給元 (再生資材を利用した場合に記入してください)					再生資源		
分類	小分類 コード*5	規格	主な利用用途 コード*6	利用量(A) 単位:百万まで	再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元 種類 コード*7	施工条件 内容 コード*8	再生資材の供給元場所住所	住所コード *4	再生資材の名称 コード*9	再生資材利用量(B) 単位:百万まで (注1)	利用率 B/A×100
土砂				締めm <sup>3</sup>							締めm <sup>3</sup>	%
				締めm <sup>3</sup>							締めm <sup>3</sup>	%
				締めm <sup>3</sup>							締めm <sup>3</sup>	%
				締めm <sup>3</sup>							締めm <sup>3</sup>	%
				締めm <sup>3</sup>							締めm <sup>3</sup>	%
	合計			締めm <sup>3</sup>						締めm <sup>3</sup>	%	
碎石				トン							トン	%
				トン							トン	%
				トン							トン	%
				トン							トン	%
				トン							トン	%
	合計			トン						トン	%	
アスファルト 混合物				トン							トン	%
				トン							トン	%
				トン							トン	%
				トン							トン	%
				トン							トン	%
	合計			トン						トン	%	
その他 (再生資材 のみ記入)				トン							トン	%
				トン							トン	%
				トン							トン	%
	合計			トン						トン	%	

- コード\*5
- 土砂について
- 第一種建設発生土
  - 第二種建設発生土
  - 第三種建設発生土
  - 第四種建設発生土
  - 泥土(建設汚泥以外)
  - 土質改良土
  - 再生コンクリート砂
  - 山砂、山土等の購入土、採取土
- 碎石について
- クラッシャーラン
  - 粒度調整碎石
  - 鉱さい
  - 単粒度碎石
  - ぐり石、割ぐり石
  - その他
- アスファルト混合物について
- 粗粒度アスファルトコンクリート
  - 密粒度アスファルトコンクリート
  - (開粒度及び改質アスファルトコンクリートを含む)
  - 細粒度アスファルトコンクリート
  - アスファルトモルタル
  - 加熱アスファルト安定処理路盤材
- その他について(再生資材の名称を具体的に記入)

- コード\*6
- 土砂について
- 道路路体
  - 路床
  - 河川築堤
  - 構造物等の裏込材、埋戻し
  - 宅地造成
  - 水面埋立
  - ほ場整備(農地整備)
  - その他(具体的に記入)
- 碎石について
- 舗装の下層路盤材
  - 舗装の上層路盤材
  - 構造物の裏込材、基礎材
  - その他(具体的に記入)
- アスファルト混合物について
- 表層
  - 基層
  - 上層路盤
  - 歩道
  - その他(駐車場舗装、敷地内舗装等)
- その他について(利用用途を具体的に記入)

- コード\*7
- 再生資材の供給元について
- 現場内利用
  - 他の工事現場
  - 再資源化施設
  - ストックヤード
  - その他

- コード\*8
- 施工条件について
- 再生材の利用の指示あり
  - 再生材の利用の指示なし

- コード\*9
- 土砂について
- 第一種建設発生土
  - 第二種建設発生土
  - 第三種建設発生土
  - 第四種建設発生土
  - 泥土(建設汚泥以外)
  - 土質改良土
  - 再生コンクリート砂
  - その他
- 碎石について
- 再生クラッシャーラン
  - 再生粒度調整碎石
  - 鉱さい
  - その他
- アスファルト混合物について
- 再生粗粒度アスファルトコンクリート
  - 再生密粒度アスファルトコンクリート
  - (開粒度及び改質アスファルトコンクリートを含む)
  - 再生細粒度アスファルトコンクリート
  - 再生アスファルトモルタル
  - 再生加熱アスファルト安定処理路盤材
- その他について(再生資材の名称を具体的に記入)

注1:再生資材利用量について

アスファルト混合物等で、利用した再生材(製品)の中に、新材が混入している場合であっても、新材混入分を含んだ再生資材(製品)の利用量を記入してください。



様式-8 再生資源利用促進計画書(実施書) -建設副産物搬出工事用-

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ「様式8」を作成して下さい。

1. 工事概要

発注機関名	発注機関コード*1	発注担当者チェック欄	請負会社名	請負者コード*2	記入年月日
		担当者	会社所在地	TEL	工事責任者
		TEL ( )		FAX ( )	調査票記入者

  

工事名	工事種別コード*3	最終工事	100万円未満四捨五入 単位:千億まで
		請負金額	0,000,000 円 (税込み)
工事施工場所	住所コード*4	工期	自 至
工事概要等	施工条件の内容		

  

建築面積	階数	地上階
延床面積		地下階
構造	<input type="checkbox"/> 鉄骨鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> 鉄骨造 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック造 <input type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> その他	
用途	<input type="checkbox"/> 居住専用 <input type="checkbox"/> 居住産業併用 <input type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 店舗 <input type="checkbox"/> 工場、作業所 <input type="checkbox"/> 倉庫 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 病院診療所 <input type="checkbox"/> その他	

2. 建設副産物搬出実績

現場内利用の欄には、発生量(掘削等)のうち、現場内で利用したものについて御記入ください。

注) 再資源化施設、最終処分場は、指定副産物の種類ごとに3ヶ所まで記入できます。4ヶ所以上になる場合は、用紙を換えて記入してください。

コード\*14(コード\*13で「7.内陸処分場」を選択した場合のみ記入)

1.山砂利等採取跡地 2.処分場の覆土 3.池沼等の水面埋立 4.谷地埋立 5.農地受入 6.その他

指定副産物の種類	(1)発生量 (掘削等) =(2)+(3)+(4)	現場内利用・減量			現場外搬出について										再生資源利用 促進率 (2)+(5) ×100 (1)		
		現場内利用		減量化	搬出先名称		搬出先場所		搬出先		(4)現場外搬出量		(5)再生資源 利用促進量 (注2)				
場外搬出時の性状	用途 コード*10	(2)利用量	うち現場内 改良分	減量化 コード*11	3ヶ所まで記入できます。4ヶ所以上に わたる時は、用紙を換えて下さい。		区分 どちらかに印を付けてくだ さい		施工条件の 内容 コード*12	住所コード *4	運搬距離 単位:千まで	搬出先 の種類 コード*13	受入地 の用途 コード*14	単位:百万まで			
建設発生土	第一種建設発生土	0			1ヶ所目	<input type="radio"/> 公共 <input type="radio"/> 民間					km			地山 <sup>m<sup>3</sup></sup>	地山 <sup>m<sup>3</sup></sup>	地山 <sup>m<sup>3</sup></sup>	%
	第二種建設発生土	0			2ヶ所目	<input type="radio"/> 公共 <input type="radio"/> 民間					km			地山 <sup>m<sup>3</sup></sup>	地山 <sup>m<sup>3</sup></sup>	地山 <sup>m<sup>3</sup></sup>	%
	第三種建設発生土	0			3ヶ所目	<input type="radio"/> 公共 <input type="radio"/> 民間					km			地山 <sup>m<sup>3</sup></sup>	地山 <sup>m<sup>3</sup></sup>	地山 <sup>m<sup>3</sup></sup>	%
	第四種建設発生土	0			1ヶ所目	<input type="radio"/> 公共 <input type="radio"/> 民間					km			地山 <sup>m<sup>3</sup></sup>	地山 <sup>m<sup>3</sup></sup>	地山 <sup>m<sup>3</sup></sup>	%
	泥土 (河川、湖沼 等の浚渫土)	0			2ヶ所目	<input type="radio"/> 公共 <input type="radio"/> 民間					km			地山 <sup>m<sup>3</sup></sup>	地山 <sup>m<sup>3</sup></sup>	地山 <sup>m<sup>3</sup></sup>	%
	合計	0	0	0	3ヶ所目	<input type="radio"/> 公共 <input type="radio"/> 民間					km			地山 <sup>m<sup>3</sup></sup>	地山 <sup>m<sup>3</sup></sup>	地山 <sup>m<sup>3</sup></sup>	%
コンクリート塊	0				1ヶ所目	<input type="radio"/> 公共 <input type="radio"/> 民間					km			トン	トン	トン	%
アスファルト・ コンクリート塊	0				2ヶ所目	<input type="radio"/> 公共 <input type="radio"/> 民間					km			トン	トン	トン	%
建設発生木材	0				3ヶ所目	<input type="radio"/> 公共 <input type="radio"/> 民間					km			トン	トン	トン	%
建設汚泥	0				1ヶ所目	<input type="radio"/> 公共 <input type="radio"/> 民間					km			トン	トン	トン	%
建設混合廃棄物	0				2ヶ所目	<input type="radio"/> 公共 <input type="radio"/> 民間					km			トン	トン	トン	%
					3ヶ所目	<input type="radio"/> 公共 <input type="radio"/> 民間					km			トン	トン	トン	%

コード\*10  
1.路盤材 2.裏込材  
3.埋戻し材 4.その他(具体的に記入)

コード\*11  
1.焼却 2.脱水  
3.天日乾燥 4.その他(具体的に記入)

コード\*12  
施工条件について  
1.A指定処分  
(発注時に指定されたもの)  
2.B指定処分(もしくは準指定処分)  
(発注時には指定されていないが、  
発注後に設計変更し指定処分とされたもの)  
3.自由処分

コード\*13(詳細は「表-4」参照のこと)  
再生資源利用促進  
1.他の工事現場(内陸:公共、民間を含む)  
2.再資源化施設(土質改良プラントを含む)  
3.有償売却(工事請負会社が建設副産物を売却し、  
代金を得た場合)  
4.建設発生土ストックヤード(他工事で再利用される場合)  
5.海面埋立事業(海岸、海浜事業含む)

最終処分場・その他  
6.海面処分場  
7.内陸処分場(建設発生土受入地を含む)  
8.建設発生土ストックヤード(再利用されない場合)  
9.中間処理施設(焼却施設、処分のための中間  
処理施設に限る)  
10.その他(具体的に記入)

注2:再生資源利用促進量について  
現場外搬出量(4)のうち、搬出先の種類  
(コード\*13)が1~5の合計